

わが社の 企業価値

シチズンタ張

シチズンタ張は1984年、夕張精密として夕張市に設立し、以来腕時計部品の製造を続け、今日に至っている。2005年10月にはシチズンのブランド戦略を受け、現社名に変更している。

のは非常に小さいが、高品質であるということも表わしている。

同社の売上のほとんどは腕時計部品で占められている。しかし、腕時計事業には厳しいものがあり、中国製品の台頭やスイスのブラン



「自動盤加工・歯割盤加工技術で世界一になる」が同社のモットー

ろであり、土地も安く入手でき、また、製品が小さいので輸送コストもあまり掛からないといった利点がある。

企業にとって一番大

下が目標・評価を話し合い、共通認識を持って業務にあたるようにした。

同社はシチズングループの腕時計部品の生

夕張市という、メロン栽培が全国的にも有名であるが、財政破綻問題で全国的に注目され、夕張市に関係するマスコミ報道の中で同社の名前が取り上げられ、腕時計部品を製造している会社が夕張市内にあることが知られるようになった。

同社の経営理念は「小さくとも一流を目指す」というもので、これは会社の規模は小さくとも、製造しているものは一流品であることを意味している。また、製造しているも

「小さくとも一流」を目指す 微細加工の精度の高さが強み

ド品の進出、国内他社との競争などがあり、安閑としている状況ではないのが実情である。同社ではその対策として合理化や作業の集約化といったコスト削減活動を推進するとともに、付加価値の高い製品の拡大を行っている。

一方、夕張市は自然環境のすばらしいとこ

事な人の問題については、夕張市の財政破綻問題で獲得できる心配されたが、そのことには関係なく継続して応募が来ている。ちなみに今年度は10人の新卒者が入社している。人の育成面では、今年度から「頑張った人がより報われる」ように新人事制度の導入に踏み切った。上司と部

産拠点の一つとして、段階的に部品の加工を集約しつつある。同社が誇れるのは、腕時計部品の加工で培った微細加工の精度の高さである。また、検査工程においても各種測定器があるが、ベテラン検査員になると、わずかなキズや寸法の違いも顕微鏡によるチェックで見分ける程である。

現在、「自動盤加工・歯割盤加工技術で世界一になる」をモットーに様々な部品を生産しながら技能を磨いている。腕時計部品以外の売上の比率はまだ低い。超細物加工で力を発揮している。なかには髪の毛より細い部品をマイクロンの精度で仕上げるものもある。こうした技術を生かし、時計外でも売上を拡大し、時計事業に次ぐ第二の柱を築くことを目標に活動を展開中だ。

CSR体制の確立
ISO14001及び
ISO9001の認証
取得により、広く社会に認知される企業として、また、マイクロンという小さな世界での革新で顧客ニーズにこたえていく企業として、今後さらなる発展を目指している。



▽本社 夕張市南清
水沢4丁目107番地
▽代表者 高久正敏
代表取締役常務
設立 1984年▽従業員数 144人▽URL <http://www.citizen-yubari.jp>